

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ★家庭学習と読書推進のポイント教えます★

☆☆☆ このメルマガの内容とは？ ☆☆☆

このメールマガジンは、教育振興運動全県共通課題（「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」）の推進にあたり、実践事例の紹介や意見交流を行うために、各実践区事務局、県内小中学校、市町村教育委員会、県内指導主事・社会教育主事、そのほか関係者の方々に送信しているものです。

< 目 次 >

- 1 【事例紹介 4】 「世田米地区実践区（住田町）」 《読書推進》
 - 2 【家庭学習】 「全国学力テストの結果」を受けて（後編）
 - 3 【読書推進】 レッツ！読み聞かせ
～読み聞かせ方 3「持ち方・めくり方編」～
 - 4 【教振は今】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 5 【みんなの声】 ペっこ言い隊
 - 6 【編集後記】 あつしのひとりごと
-

1 【事例紹介 4】「世田米地区実践区（住田町）」 《家庭学習》

今年度「全県共通課題」に取り組んでいる実践区の紹介第 2 弾です。前回は「家庭学習」の事例を紹介しましたので、今回は「読書推進」です。（交互に、県内 10 地区の事例を紹介していきます。）

今回紹介します「世田米地区実践区」では、親子読書に取り組んでいます。親の負担感が大きい、また選書に困っているという課題を解決するために P T A 研修部が中心となって活動をしています。

詳しい紹介は、こちらまで。（紹介事例をダウンロードできます）

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_setamai.pdf

2 【家庭学習】「全国学力テストの結果」を受けて（後編）

- 一、早ね早おき朝ごはんに家庭学習（規則正しい生活がスタートライン）
- 二、学校の話で弾む一家団らん（笑いが脳を活性化）
- 三、読書で拓く心と世界（めくるページ、広がる創造力）
- 四、話して書いて伝え合う国語（国語力は学びの基本）

- 五、難問・難題に挑戦する算数・数学（あきらめずやりきることで能力アップ）
- 六、新発見の連続、広がる総合（総合の時間は脳のビタミン）
- 七、決まり・ルールは守ってあたりまえ（落ち着いた教室で高まる集中力）
- 八、いつも気をつけている言葉遣い（相手意識で磨く活用力）
- 九、説明は筋道立てて伝わるように（整理する工夫が脳のトレーニング）
- 十、学んだことは生活で学校ですぐに活用（活用できて本当の生きる力）

これは、平成 19 年に秋田県がつくった『秋田わか杉っこ 学びの十か条』です。当たり前のことを言っていますが、なかなか難しいですね。

驚くべきは、秋田県は「この 10 項目が出来ていないから、出来るようにさせたい」ということでつくったのではなく、平成 19 年度全国学力テストの質問紙調査で全国平均を上回った項目を組み合わせでつくったということです。

秋田の子どもたちが規則正しい生活をしながら、家庭学習にしっかり取り組んでいる姿を反映し、それぞれの学校の新たな「目指す子ども像」や PT A 活動のスローガンとして活用されることを期待して提唱しています。

この 10 項目がすでに優れているということに驚きますが、その優れている点を目標にして全県に提示し、更に伸ばしていこうとする姿勢が、2 年連続、3 年連続全国 1 位につながっているのですね。

秋田県では、学校・家庭・地域のみんなで取り組む体制を『オール秋田』と呼んでいます。「みんなでやろう」という教育振興運動と同じ発想ですね。実際に、みんなの力が 1 点に結集しているかどうか・・・の違いだけです。

★『秋田わか杉っこ 学びの十か条』の資料はこちらから。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_akita.pdf

市町村や各学校単位でも子どもたちの実態を分析して、同様のものを実践区や学校でつくって家庭や地域に提案できそうですよ！

3 【読書推進】レッツ！読み聞かせ（その 5）

～読み聞かせ方 3「持ち方・めくり方編」～

< さあ、読み聞かせを始めましょう！ >

- (1) 表紙を見せて、タイトルと作者、画家の名前を読む。
本の位置は、一般に「縦書きの本は体の左」に、「横書きの本は体の右」に持ちます。
- (2) 見返しを見せる。
持ち方は、親指と人差し指ではさむように本の下中心を持ちます。

見返しからすでに物語は始まっているのです。例えば、『スーホの白い馬』の見返しは何も描かれていませんが、モンゴルの砂の色をしています。

(3) もう一度、本文のタイトルを読む。

(4) ページをめくる。

手前ページ下をつまみ、送るようにページをめくります。不安定なときは、胸の横に本の端を当てて支え、片手で本の下中心を持ち、もう片方の手でページの下端をめくるとグラグラしません。

(5) 本文を読む。

座っている子どもたちに絵がよく見えるように、本を出来るだけ水平に開き、本の上部をやや下向きに傾けて持つといいです。

読んでいる時から、手前のページ下をつまんでめくる準備をしておきます。また、ページをめくった直後は、すぐに読まずに一拍置きましょう。

(6) 後ろの見返しも見せる。

本文が終わったら後ろの見返しも飛ばさず、しっかり見せましょう。

(7) 裏表紙を見せる。

余韻を持たせて、ゆっくりと「おしまい」と言って締めくくります。

『はじめてのおつかい』では、本文ではママに頼まれて牛乳を買いに行った女の子が、無事帰り着くところで終わり・・・となりますが、裏表紙には転んですりむいた傷を手当してもらい、牛乳を飲んでいる様子が描かれています。

裏表紙まで、物語が続いている作品もあるのです。

(8) 最後にもう一度表紙を見せる。

再び表紙を見せて、「『〇〇』というお話でした」とタイトルを言っておしまいにします。また、表紙と裏表紙がつながった絵になっている本は、最後に開いて見せてあげましょう。

学校図書館ボランティアの勉強会で、子どもに読み聞かせる仲間が集まった時の話題にしていただければ・・・と思います。

次回は、～読み聞かせ方 4「良くない持ち方・めくり方編」～です。

4 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(教ちゃん) 今、学校では先生と子どもたち、家庭、地域が協働して達成

させる具体目標を設定しているのよ。知ってる？

(振ちゃん) 「マニフェスト」・・・じゃなくて、「まなびフェスト」だったね。

(教ちゃん) そう。「家庭学習の定着」や「読書活動の推進」を位置づけている学校もたくさんあるわ。

(振ちゃん) 教育振興運動の「全県共通課題」と同じものを目指しているんだね。

(教ちゃん) そうなのよ。学校からの働きかけが「まなびフェスト」で地域からの働きかけが「全県共通課題」と言えるわね。

(振ちゃん) 学校の「まなびフェスト」を達成させるために、教育振興運動という今ある地域の組織を活用すればいいんだよ。そもそも、先生も5者の1つ。一緒に活動する仲間なのだから。

(教ちゃん) そうよ。西和賀町の川尻小学校では、「まなびフェスト」の中に教育振興運動を明記して、一緒に取り組んでいるわ。詳しくはここを見て！

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_kawajiri.pdf

(振ちゃん) そうだよ。子どもたちに力をつけさせたい。そのための課題を解決したい。その願いは、学校も家庭も地域も同じだもんね。

【みんなの声】ぺっこ言い隊

今回も興味深くメルマガを読ませていただきました。

読書の事前準備については、本当に「なるほど」と思いました。うちの小学生の子どもたちは（妻が図書司書という事情もあって）年間100冊近く本を読みますが、学校図書館の本は汚いので読みたくない、などと言います。

古い本であっても、きちんと修復作業をすればいいのですが、なかなか解決しないようですね。

また、本の貸出冊数だけで表彰したりするもんだから、ロクに中身も見ずに借りること自体に力を注ぐ子どももいるようなので、読書自体の素晴らしさをもっと伝えられたらいいなあと考えております。

(H町 Cさん；長文にて前半「読書について」)

実践区や職員室でメルマガを回し読みでの感想、家庭学習や読書について日頃思っていること、皆さんの声を、こちらにどんどんお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

【編集後記】あつしのひとりごと

教振メルマガは、月2回火曜日配信ですが、連休により木曜日の配信となりました。遅くなり、申し訳ございません。

さて、県内各地の秋まつりは終わりましたが、いよいよスポーツの秋・文化の秋。様々なイベントシーズンに突入し、子どもたちの活躍の機会もたくさんあることと思います。

地域の皆さんが、「がんばったな!」「また、頼むぞ!」と声をかけたら、子どもたちも大いに喜ぶことでしょう。地域の皆さんに認められ、ほめられ、自分の居場所を感じることで、それが「地域で育む」ということだと思います。

お知らせになりますが、「全国児童館・児童クラブ岩手大会」が開催され、10月17日(土)10時30分から14時まで、盛岡駅前「滝の広場」にて、無料のプレイベントがおこなわれます。

県内外の児童館・学童クラブの指導員が、お勧めの遊びや手作りおもちゃを紹介します。子どもに関わっている方は、自分の技のレパートリーを増やす機会に、また自分の子どもと一緒に楽しむ機会として、どうぞご参加下さい。

⇒ 第6号は、10月13日(火)配信です。

★このメールへの感想、ご意見・ご要望がございましたらこちらまで。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

★教育振興運動に関する資料を見たくなりましたらこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index.html>

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

★子育てに迷ったら、ひとりで悩まず「子育ていわてケータイサイト」に。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kt-shien/>

~~~~~配信元~~~~~

\*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士(さとう あつし)

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう!」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

⇒ 学校新聞の裏面に掲載しての各家庭への配布、回覧板を使つての自治会・子ども会への回覧も大歓迎です!

~~~~~